

岐阜県代協ニユ

2025.3
vol.360



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

会長挨拶

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会
会長

えんどう よしかつ
遠藤 昌克

寒暖の差が激しい3月でした。ここ数年は3月の気温が平年を上回る状態が続いており、東、西日本で平年以下の寒さとなった2017年以来、7年ぶりに「寒い3月」となりました。この原因は、上空の強い西風である「偏西風」が日本付近を通り、低気圧や前線が通過しやすくなったことが原因のようです。この影響で冬型の気圧配置で空気が乾燥し、全国各地で山火事が発生しました。

中でも岩手県大船渡市では大規模な山火事により何日も燃え続け、100件以上の家屋が被害を受けました。14年前の東日本大震災で津波に襲われ、さらに今回の山林火災でも大きな被害を受け、震災と火災の「二重被災」となっている人たちも少なくないと思われます。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。亡くなられた方にはご冥福をお祈り申し上げます。ロサンゼルス(ロサンゼルス)の山火事も記憶に新しいところでの今回の災害です。リスクに対しての仕事をしている私たちにとっては火災保険にしっかり加入させていただきたくありませんか？と心配になります。改めてお客様にもしもの時に備えた火災保険の大切さをしっかりご説明しなければと再認識いたしました。



さて、代協活動ですが、2月22日に三重県にて「人材育成セミナー」が開催されました。1日目は石川地域担当理事から「日本代協の活動」についての講義、橘ブロック長からの「県代協の活動」～東海4県の会長による代協活動や今後の代協についてのパネルディスカッションが行われました。そして小平政治連盟会長による「意義と活動」・なぜ政治の力が必要なのか？講演をいただきました。2日目には日本代協金澤専務理事により前日まで行われていた「活力研」の報告を中心に講演していただきました。年に2回行われている「活力研」は、大手4社の代理店部担当部門のトップと各社2時間ずつ個別に意見交換会を行っています。主に今後の手数料体系、業界の信頼回復について意見交換した旨の報告の中で、各社、業務品質を重視した手数料体系に移行しつつあり、併せて有識者会議の報告では、皆様が一番気にされている「意向把握」につきまちはいろいろ意見があり、まだ議論が続いています。そして3月14日には日本代協臨時総会・全国会長懇談会が行われました。そして5回目を迎えた「金融庁保険課長との意見交換会」が行われ下井課長様と事前に提出してある全国からの意見について、昨年と同様①手数料P制度、チャンネル間格差、団体扱いについて、保険会社とのコミュニケーションについて②業務品質第三者評価、比較推奨販売についてなどご意見をいただき、こちらからも意見や要望もさせていただきました。2時間に及ぶ意見交換会、中身がとても濃いため、議事録が出ましたらご確認いただきたいと思います。有識者会議、金融審議会ワーキンググループにて議論されていることが今後発表されていくかと思っております。私からも各支部例会や総会等においても報告させていただき、代協から発信していきます。

最後に3月末で2024年度が終わります。今年度は「三冠王」を達成することができました。理事役員、会員の皆様には心から感謝申し上げます。これから各支部総会が開催されますが、今年は開催日程が集中しているため、全支部に参加することができません。どうかご了承ください。毎月開催されます各支部の例会には順に参加させていただきたいと思っておりますので、次年度も引き続きよろしくお願いいたします。

1 p・・・会長挨拶／目次
2 p・・・スケジュール／事務局より
3 p・・・支部報告①
4 p・・・支部報告②
5 p・・・代理店紹介
6 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (226) ①
7 p・・・～保険ジャーナリスト ②
8 p・・・中崎章夫③

9 p・・・『街道シリーズ』(郡上街道 30) 松尾 一
10 p・・・会員投稿
11 p・・・提携事業者広告掲載①
12 p・・・提携事業者広告掲載②
13 p・・・提携事業者広告掲載③
14 p・・・提携事業者広告掲載④
15 p・・・委員会報告／編集後記

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
3	11	火	岐阜	東ブロック会(12:00～)	馬喰一代 県庁東店
	11	火	中濃	例会(10:30～)	太田交流センター
	13	木	岐阜	西ブロック会(11:30～)	馬喰一代 長良本家
	13	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	18	火	企画環境	委員会(11:00～)	Web 会議
	18	火	飛騨	例会(11:30～)	魚菜
	24	月	岐阜	役員会(12:00～)	ひしの寿司
4	2	水	西濃	例会(11:30～)	五右衛門
	3	木	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター
	4	金	飛騨	支部総会(18:00～)	ひだホテルプラザ
	10	木	東濃	支部総会(11:00～)	みわ屋
	18	金	岐阜	支部総会(14:00～)	メディアコスモス
	18	金	西濃	支部総会(14:00～)	スイトピアセンター
	18	金	中濃	支部総会(17:30～)	昇月
	20	日	CSR	第1回「長良川を美しくしよう運動」	長良川河畔
5	13	火	県代協	通常総会(14:30～)	グランヴェール岐山

～ 事務局より ～

【通常総会日程のお知らせ】

日本代協	2025年	6月13日(金)	10:00～	損保会館
県代協	2025年	5月13日(火)	14:30～	グランヴェール岐山
岐阜支部	2025年	4月18日(金)	14:00～	メディアコスモス
西濃支部	2025年	4月18日(金)	14:00～	スイトピアセンター
中濃支部	2025年	4月18日(金)	17:30～	昇月
東濃支部	2025年	4月10日(木)	11:00～	みわ屋
飛騨支部	2025年	4月4日(金)	18:00～	ひだホテルプラザ

【正会員年会費振替のお知らせ】

2025年 4月22日(火)に2025年度 第I期の正会員年会費を指定口座より振り替えさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040
Eメールアドレス : gfaikyo@opal.ocn.ne.jp



(担当: 小川百合子)

支部活動報告

【岐阜支部3月活動報告】

○岐阜支部第3回合同ブロック会 AEDセミナー及び情報交換会報告

開催日時 : 2025年 2月20日(木) 10:30 ~ (AEDセミナー)
AEDセミナー後 ~ (情報交換会)

開催場所 : AEDセミナー・・羽島市防災ステーション
情報交換会・・魚勝

参加者数 : AEDセミナー 22名、情報交換会 21名

報告者名 : 松野 亘芳



○岐阜支部東ブロック会開催報告

開催日時 : 2025年 3月11日(火)
12:00~

開催場所 : 馬喰一代 県庁東店

参加者数 : 会員 14名、提携事業者3名

報告者名 : 後藤 信男

《内容》

2024年度最後の東ブロック会を開催いたしました。正会員、提携事業者合わせて17名の皆様にお集まりいただき、顔を合わせての交流、活動ができました。



(東ブロック会)

○岐阜支部西ブロック会開催報告

開催日時 : 2025年 3月13日(木)
11:30~

開催場所 : 馬喰一代 長良本家

参加者数 : 会員 14名、提携事業者 3名

報告者名 : 川島 邦夫

《内容》

遠藤会長にもご出席をいただき、西ブロック会を開催いたしました。当日あいにくと都合が悪く欠席された会員の方もいましたが、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



(西ブロック会)

【西濃支部3月活動報告】

○西濃支部活動報告

西濃支部3月例会報告

開催日時 : 2025年 3月 5日(水) 11:30~ 開催場所 : 大垣「五右衛門」

参加者数 : 14名 (正会員12名、賛助会員2名) 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

①遠藤会長挨拶 三冠王達成御礼、人材育成セミナー参加御礼

②連絡事項

- ・提携事業者案内 ファブリカコミュニケーションズ、メットライフ生命より
- ・2/21~22 東海ブロック人材育成セミナー参加報告 3名参加(畦地、小林、永井)
- ・西濃支部総会について・・・4/18(金) 14:00~ スイトピアセンター学習館にて
懇親会 18:00~ 大垣駅前 いろはにほへとにて

③委員会報告

- ・企画環境・・・2/19委員会 Web 開催報告 提携事業者について
 - ・教育・・・コンサルティングコース申込目標達成(目標15名、31名申込)
 - ・広報・・・トータルプランナー広告御礼、次年度掲載料金値上げ予定
 - ・CSR・・・使用済み切手回収、献血キャンペーン協力御礼
 - ・組織・・・岐阜県代協目標7店達成報告、御礼
- ④その他・・・新入会員、新規参加者 挨拶(國嶋保険サービス、autoqueata、あんしん保険事務所)

※次回例会 2025年 4月 2日(水) 11:30~ 大垣「五右衛門」にて

【中濃支部3月活動報告】

○中濃支部3月例会開催報告

3月の支部例会は都合により未開催となりました。

報告者名 : 田中 大意

【東濃支部3月活動報告】

○東濃支部3月例会報告

開催日時 : 2025年 3月13日(木) 11:30~

開催場所 : みわ屋

参加者数 : 8名

報告者名 : 水野 智久

《議題》

- ・提携事業者案内 (株)ファブリカコミュニケーションズより
- ・各委員会報告
- ・東濃支部総会について・・・開催日時 4月10日(木) 11:00~ 会場 みわ屋

【飛騨支部3月活動報告】

○飛騨支部3月例会開催報告

開催日時 : 2025年 3月18日(火)
12:00~

開催場所 : 魚菜

参加者数 : 13名

報告者名 : 熊木 千夏

《議題》

- ・飛騨支部総会について再確認
2025年 4月 4日(金) 18:00~ 総会、
18:30~ 懇親会 ひだホテルプラザにて
- ・来年度の活動内容等について
- ・来年度よりの例会開催について・・・第2水曜日の11:30~の例会に変更
- ・各委員会報告
- ・支部長より東海ブロック参加報告



代理店紹介

東濃支部 株式会社エコール (e c o l e) 本社

<代理店名>

株式会社エコール (e c o l e) 本社

<所在地>

〒508-0001

岐阜県中津川市中津川1250-1

<代表者>

此原 準一

<スタッフ>

11名

<取扱保険会社>

共栄火災海上保険 三井住友海上火災保険 損害保険ジャパン
あいおいニッセイ同和損害保険 東京海上日動火災保険
三井住友海上あいおい生命 東京海上日動あんしん生命保険
日本生命保険 フコクしんらい生命保険 SONPOひまわり生命保険
はなさく生命

<略歴>

平成19年6月1日 会社設立

現在に至る

<経営理念>

「明るく、楽しく、元気よく、そして正しく」

<みなさまへ一言>

厳しい時代ですが、皆様一緒に頑張りましょう！



ホケンの価値は異業種共創によるホケン+ヒホケン

ー ホケンノミライ2025に参加して代理店の情報収集の大切さを考える

◇代理店同士の自主研鑽の場づくりの大切さ

今回2泊で高知でRING（保険代理店によるリスクマネジメントと保険のネットワークグループ）の会の高知オフ会に参加した。

ご存じない方もおられるのでこの会の歴史を紹介すると、保険の自由化を背景に保険会社への過度の依存体質を改め自由な発想で、代理店を取り巻く環境変化の激変に対応していくためには代理店自らの経営マインドの変革が必要との危機感から、1978年に全国の意欲的なプロ代理店経営者とそれを支援する代理店以外の専門家（アドバイザー）によって設立されたものだ。

代理店の勉強会や情報交流の組織はいろいろあったが、観察してみると個性が強い経営者同士、集まると親分肌の強い、声の大きい、カリスマ的なものや、保険会社への依存度が強いものが多かったため、これを避けるために工夫をした。

情報はただではないとの発想のもとに、より良い情報を得るには確かな情報源を自ら確保し自ら確かめ発信するため代理店自身の自主財源で運営することと、代理店が主役だが、強力な脇役として代理店経営や保険文化創造に関心のある外部の専門家の方々をアドバイザーとして行司役的な仕組みとして取り入れたのがとりわけユニークな点だったと思う。

顧客接点に立つ代理店の自立的な情報交流と経営のレベルアップにより保険代理店経営と業界の保険文化の創造を目指すために自主企画、自主財源、手作り・草の根の広域ネットワークの組織として創設され、その創設時からアドバイザーの一人としてかかわってきた。日本代協という全国の専門代理店のネットワークの活性化を軸に、代理店同士のいろいろな自主・自律的な情報交流の輪（リング）が広がれば業界文化も変わるというのがそもそもの狙いだった。

<https://ring-web.net/>

RINGの会の年間行事としては対外的な活動のオープンセミナーとともに、1979年から原則年1回、業界に広く呼びかけ自主運営で開催され、今では1000名以上の参加規模の大きな業界イベントともなってきたオープンセミナー（本年6月21日横浜みなとみらいのパシフィコ横浜で開催、通算26回目となる）とともに、もう一つの柱としてオフ会があり、メンバーのみのクローズドの勉強会を年1回開催して、メンバー相互のリアルの情報交流の場としているものだ。今回の高知では、OMO7高知 by 星野リゾートを会場に実施され、代理店、アドバイザー、オブザーバー、講師など60人からの参加があった。

◇高知名物ジャン麺や皿鉢料理を満喫

初日の昼、何か食べようと、たまたま会場近くにあったラーメン屋さんが、まんじゅうのジャン麺、これが高知名物とかで、午前11時開店まもなく行ったため、並ばずに入れてラッキーだった。ジャン麺は、ホルモン（牛もつ）とニラたっぷり、唐辛子、豆板醤入り、鶏がらスープのかきたまのあんかけラーメン。生卵とごはんもとったが、ふわトロの餡はちよっぴり辛味もあり、モツの甘みと調和し、こりゃごはんは合うわ！四万十町の焼肉店「満州軒」生まれで、ごはんは合うラーメンのコンセプトで開

発されたとか、今や高知市内にも複数店舗が進出し、行列のできる店となっている。

初日の夜は、はりまや橋近くの土佐料理の司高知本店で皆で豪快な土佐料理のてんこ盛りの皿鉢（さわち）料理も食べられたし、帰りがけ昼に同じ店でカツオの刺身定食も食べたし、高知の味を満喫できた。食いしん坊としてはひろめ市場に行けなかったのが心残りだったが、別の機会を待ちたい。

◇ホケンノミライという保険業界有志によるデジタル変革の勉強の場

3月7日（金曜）午前10時から午後8時半まで、F I N G A T E 茅場町ビルを会場に、保険業界のオープンAPI普及と、協業・共創を推進する有志コミュニティのG u a r d T e c h 検討コミュニティと、保険・代理店業界情報プラットフォーム運営の有限会社i n s w a t c h 共催の年次カンファレンス「ホケンノミライ2025」が開催された。昨2024年3月に続き第2回目で、金融庁のJ A P A N F I N T E C H W E E K 2 0 2 5（3月3～7日）の一環として組み込まれている。

<https://hokennomirai.studio.site/>



保険会社の社員、代理店、インシュアテック、学者、弁護士、異業種の方など業界横断的に様々な方が個人ベースで参加する緩い催しだが、志は高い。保険業界におけるDXの推進により新たなミライを切り開くために何が必要か、について多角的かつ、従来の縦割り文化、閉鎖的な企業文化から脱却した越境的発想で、自由に検討していくのが狙い。全てボランティアによる運営で、自由かつ柔軟な発想でホケンノミライを語り合おう、新たなオープンイノベーションを起こしていこうというものだ。保険代理店では企業代理店に混じり専門プロ代理店も数名参加していたが、

まだまだ少数。「若者、バカ者、よそ者」大歓迎という越境型のオープンの催しだけにぜひともこうした場を活用してほしいものだ。情報は人にあり、越境的考えで、自ら進んで取りに行く時代だから。

◇10年後のホケンノミライの課題、問題点を多角的に斬る

10年後の保険業界の未来を見据え、現状の問題点、課題、インシュアテック技術の最新動向を探り、多角的に未来展望を探るもので、昼の休憩も無く、ぶっ通しで、日ごろあまり取り上げられない視点なども含め11のセッションが用意され、自在の参加が可能なスタイルで、これには221名が参加した。

当日のセッションでは、キーセッションの1)ホケンノミライー生成AIの活用と未来展望、を皮切りに2)保険業法改正の羅針盤一過去から未来展望、3)保険業界に潜むアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）、4)さわかみ投信と独立FPが考える真の顧客本位、5)新保険を作るハッカソン（ホケンノカタチ）、6)Z世代が語る保険業界若手の主張、7)保険代理店が目指すもの（顧客本位と価値提供の新たなカタチ）、8)R I S（全国学生保険ゼミ）が切り拓くか保険業界の産学協同の取り組み、9)「ホケンノミライ」のミライ、10)AI時代のホケンジャーニー、11)フェムテック保険新時代（グローバル事例と日本市場の可能性）と多様かつ独自の切り口から保険業界の課題と、これからの展望に関する問題提起や取り組み事例の紹介があった。

各セッション内容は原則非公開であるが、以上の多様なテーマからもうかがい知れるように、生成AIなどの最新テクノロジーを使って、各方面でどのような顧客価値の創造が可能か、業務プロセスの革新につながるのか、またこれらDXを推進するうえでどのような障壁があるのか、商品の企画・開発・保険金支払い等の業務革新をはじめサービス開発の可能性、そのための担い手づくりや発想の転換など、今後求められる組織の在り方など、それぞれ掘り下げられてゆくべきテーマ満載であった。この中では、9)「ホケンノミライ」のミライについては許可を得られたので、以下紹介する。

◇ホケン価値を高めるミライへの異業種共創

9) のセッションでは、「ホケンノミライ」を発案・主導してきた岸和良氏（住友生命）が、「ホケンノミライ」を通じて実現を目指す新しい共創の形や人的交流のカタチにつき、この1年にわたる取り組みを振り返った。

その上で「ホケン価値を高めるミライへの異業種共創の芽は出そろった」とし、代理店デジタル化、API、生成AIエージェント、エンベディット型、ヒホケン、ローコード開発、データドリブンなどのキーワードで象徴される「ホケンノミライ」のミライは、「異業種共創によりホケン+ヒホケンを組み合わせ顧客価値の高い商品やサービス提供」にありとし、そのためにもエフェクチュエーション（成功を収めてきた起業家に見られる、従来とは異なる思考プロセスや行動のパターンを体系化した意思決定理論）型の異業種共創のやり方を身に付けることにあるとした。



◇越境活動により身につく

住友生命の Vitality のリワード特典を例に多様な異業種共創例が出てきていることで、新たな異業種共創の芽も出てきているとしその事例を紹介するとともに、こうした異業種共創力のためには、顧客価値を高めるための異業種交流力（1 明確な目的と競争価値の設定、2 相互補完する強み、3 継続的なコミュニケーション、4 信頼関係の構築）、異業種共創成功のエフェクチュエーション型方程式（前出4つのファクター $1 \times 2 + 3 \times 4$ ）、異業種共創成功のための5つの能力（他社のキーパーソンを見つけ出す力、人脈形成力、人間関係を作る力、ビジネススキル、デジタル・データ活用力）が必要だとし、これらは越境活動により身につく、すなわちこれこそホケンノミライであるとした。

人脈を増やすためには、1) 出会いを増やす、2) 関係を深める、3) 共創の場を作る、4) 信頼を育てる、という4つのステップを繰り返していくことだとし、最後に、ホケンノミライは、ミライのホケンのインキュベーター（起業支援の仕組み）の役割を担う、とした。

全体を通じて、これからのホケンのあり方を考える上で、越境思考の大切さや多様な視点（学生、女性、若者、別業種）など、つながりの大切さを改めて痛感した。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

大野城下から勝山城下方面へ

美濃（越前）街道は、大野城下から北に寄り道して、柴田勝家の一族柴田勝安が築き、江戸中期以後小笠原氏の居城だった勝山城下方面に向かいます。

九頭竜川を渡り勝山城下の南、若猪野（勝山市若猪野）には、江戸時代、郡上藩の陣屋がありました。郡上藩は越前にも領地があり、例えば4万8000石青山氏時代には越前の大野郡、南条郡、丹生郡合わせて2万4000石ほどありました。領地のうち半分が越前にあったこととなります。この若猪野の陣屋には2名の代官がおり、領内を組分けして、それぞれ大庄屋（与頭）を設け支配していました。のち、千福（越前市千福町）にも陣屋が置かれここも2名の代官がおりました。

さて、若猪野から西の山麓には最澄が開山した白山ゆかりの平泉寺白山神社があります。この街道シリーズで、前にも触れましたが、古くから霊山白山に登る美濃馬場（長滝白山神社）、加賀馬場（白山比咩神社）、そして越前馬場（平泉寺白山神社）という三馬場があり、それぞれの白山神社から、上り千人下り千人という多くの人々が白山へ登りました。この登山道は「禅定道」といわれていました。



越前の平泉寺白山神社は、かつて多くの僧兵や坊があり都市のような規模を誇っていました。この平泉寺白山神社には東尋坊という僧侶がおり、乱暴者だったから越前の断崖絶壁の上から海に落とされましたが、その場所が国の名勝、福井県坂井市の東尋坊だという伝説があります。

平泉寺白山神社は戦国時代、一向一揆勢によって焼失、一気に勢力が衰えたといえます。

（白山遠望）

さて、江戸時代、6年にわたり托鉢しながら全国の有名寺社に詣で納経し、各地の名山に登拝していた修験僧泉光院は、文化12年（1815）6月18日、福井城下から深谷（勝山市）、牛首（石川県白山市）と進み、20日、市ノ瀬（白山市）の源兵衛宅に泊まり翌日、白山に登っていますが、その時、山役という名目の案内料120文を支払っています。現在の登山ガイド料でしょうか。当時からガイドがいたということです。

下山した泉光院は、平泉寺白山神社から勝山城下、大野城下へと托鉢しながら巡り、のち越中から飛騨に向かっています。この泉光院の白山に登るコースをみると、必ずしも馬場（平泉寺白山神社）経由とは限らないということわかります。

さて、美濃（越前）街道は大野城下に戻ります。

（まつお・いち）ライフワークは民俗、地域史（近世交通史）

著書は『岐阜地理・地名・地図の謎』（監修・実業之日本社）、『みのひだ雑学』（岐阜新聞社）など多数

会員投稿記事

『盲導犬の現状』

皆さんも、盲導犬の存在は知っていると思います。視覚障害のある方のお手伝いをする賢くかわいいわんちゃんです。駅前や商業施設で普及活動・募金等の活動で実際わんちゃんを見ると思います。ただ実際に盲導犬をパートナーとして生活している方を見た事ある方はとても少ないんじゃないかと思います。

それもそのはずで、現在国内で盲導犬の利用を待つ視覚障害者約 3000 人に対して、現在活動している盲導犬は約 800 頭と供給が全く追いついていないからです。

なぜ、普及が進まないのか？様々な要因があると思いますが、まずはわんちゃんの適正です。盲導犬は温厚で人と作業を楽しんでできる性格が向いています。攻撃性の無いことが重要です。正確や体格からみると、現在国内では主にラブラドル・レトリバーが一番多く活躍しています。50 頭の盲導犬を確保するためには訓練犬が 125 頭から 170 頭必要です。この訓練犬を確保する為にはどれだけの訓練犬候補数が必要なんでしょうか？これが適正の問題です。

もう一つ資金問題です。盲導犬育成には 1 頭約 500 万、その 9 割を寄付金で賄っているためです。弊社においても新契約 1 件につき手数料から盲導犬協会への寄付活動を 15 年以上、企業展の自社ブースに毎年盲導犬協会から PR のため盲導犬を招いて寄付活動を行っています。

皆さんも、町で盲導犬協会の方が寄付活動を行っていましたら、善意の募金をお願いします！一人の力は弱いものですが、皆さんの力が集まれば素晴らしい社会貢献が実現できます。

(中濃支部 山谷 庸二)



ホームセキュリティの新提案

HOME ALSOOK
みまもりサポート



安心を高齢者の皆様へ



ALSOOK 日本ガード株式会社

本社：岐阜市茜部中島2丁目66-6
U R L : <http://www.nihonguard.co.jp>

電話：058-274-0110
e-mail : eigyounihonguard.co.jp

ダメージカー(事故車・中古車)のご売却はタウにご相談ください

査定無料・迅速対応 ▶ 抹消・名義変更も確実 ▶ 車両の引取・処分も無料

タウがダメージカーを高価買取できる理由

世界には、事故や故障で壊れてしまったダメージカーを元の姿に修復し、再利用する文化が根付いた国々があります。タウは、このようなダメージカーに対する旺盛な需要が存在する世界100ヶ国以上に販売マーケットを拡大してきました。世界中のダメージカーマーケットを把握しているからこそ、「ダメージカーの高価買取」が可能なのです。



株式会社タウ 名古屋支店 TEL:052-930-6711 FAX:052-930-6712

愛知県名古屋市中区葵1-19-30 マザックアートプラザ10F E-mail:NAGOYA@tau.co.jp

TAU
www.tau.co.jp

- 本社：さいたま市中央区新都心11-2 LAタワー10F ●事業内容：事故車・中古車、自動車部品、ボート等の買取・販売・輸出
- 資本金：1億円 ●従業員数：336名(2013年9月末) ●売上高：156億円(2013年9月期)
- ネットワーク：札幌、盛岡、仙台、水戸、高崎、埼玉、千葉、西東京、横浜、金沢、浜松、名古屋、大阪、神戸、広島、高松、福岡、熊本/プリズベン、ウラジオストク、ドバイ





創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175(代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

**機
動
力**

**24時間365日
迅速フル対応**

いつでも、
どこへでも、
トラブル現場へ。



岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
本荘営業所 岐阜市敷島町9丁目1-1
岐阜羽島営業所 羽島郡笠松町門間750
岐阜北営業所 岐阜市津島町3丁目57



至急 GO! レスキュー

事故・故障・レンタカーのご用命は



0120-495-039

有限会社 **イブカ**

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚4丁目249
TEL:058-388-5678 FAX:058-388-5679

窓を変えて
暮らしを変える。

☎503-0854

岐阜県大垣市築捨町5丁目121-1

✉tabata@t3ha.com

HP: <https://www.igokochi.biz/>

窓まわりのガラス、雨戸、シャッター、
玄関ドア・引戸、勝手口、鍵 などなど
被害に遭われた方に寄り添った対応を
心掛けています！



0120-310-819

お電話でも受付中！

—お電話受付時間—
平日8:30~17:30
休業日/土日祝

お気軽にお問い合わせください♪

損害保険に係わる修繕工事を全て対応致します

- 民間 初動対応 → 被害者打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了報告
- 公共物 初動対応 → 役所打合せ → 見積提示 → 施工 → 完了届返却後完了報告
場合により各書類提出

上記、一連を同じ担当で施工対応致します！



お客様あつての 損害保険と理解しております!!

保険の価値が最も求められるのが事故が起きた時!
代理店様からの要請により、迅速な対応・仮復旧・清掃・
早期の現状復旧を目指し、事故に遭われたお客様、
契約者様共に納得・ご満足頂ける対応を行うことが
ご依頼を頂きました代理店様への恩返しになると丁寧に対応致します。
保険修繕業務において10年以上の経験・実務を培ってきております。
事故発生時には是非ご用命下さい

24時間365日対応

Houei sougyou
総合建設業 芳永総業
岐阜県知事許可 第103860号

岐阜県羽島市堀津町横手3丁目37-2
TEL:058-398-2282
渡邊:090-5869-9590

創業76年1000棟以上の実績
大切なあなたのお住まいを守ります



七宗の健康住宅

〒長尾建設株式会社・カネジュー設計事務所



〒509-0511
岐阜県加茂郡七宗町神淵1793-1
☎ 0574-46-1321

地元寄り添う外構店です

株式会社 Hamaken エクステリア

代表取締役 浜田 智

所在地 岐阜県多治見市旭ヶ丘5丁目2-8

URL <https://www.hamaken8008.co.jp>

所有資格 建設業許可(般-2)第500929号

FAX 0572-26-9633



お問合せはLINEに頂きますと
スムーズに対応させていただきます。

公式LINE
アカウント

当社の強み

業歴
約25年以上

お客様のご要望を
ヒアリングし、
職人目線で考えた
+αのご提案

年間施工数
100件以上

多くのお客様に
満足していただくため、品質維持、
柔軟な対応力と安心の技術を
活かしていきます

安心の
自社施工

お問合せから現地調査、
打ち合わせ、施工、
アフターフォローまで
を一貫して対応

施工大切にしていること

丁寧にヒアリングし、お客様の想いを知り、
予算に合わせた満足のいくご提案を。

5年後、10年後も美しい状態を維持できる、
一歩先を考えた利便性の高い空間を。

美観性・機能性のどちらのにも兼ね揃えた
外観工事を大切にしています。

自社施工店

一貫して全ての工程を担当



施工費用
のみ

委員会報告

【CSR委員会】

○第1回「長良川を美しくしよう運動」のご案内

2025年度長良川清掃ボランティア活動に参加いたします。
ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

日 時 : 2025年 4月20日(日) 7:00~
集合場所 : 長良橋西側・右岸河川敷 インラインスケート場
持ち物 : 軍手、あれば火バサミ

※小雨決行です。ご参加いただけます方は、県代協事務局までご連絡ください。
また、予備日はありませんのでよろしくお願いいたします。



(報告者 委員長 磯谷 宏)

編集後記

早いもので、もう年度末の3月です。桃の節句も過ぎ、いよいよ春の到来ですね。ご自身の異動・転勤や、ご家族の卒業など、新生活が始まった方も多いかと存じます。新生活、暖かい季節になり、自転車に乗られる方も増えると思います。道路交通法が改正され、令和6年11月から、ながら運転(ながらスマホ)罰則が強化され、また自転車の酒気帯び運転が新たに罰則の対象とされました。自転車の酒気帯び運転に関しては、運転をした本人はもちろん、酒気帯び運転をするおそれがある者に対し酒類を提供した者等、酒気帯び運転をほう助した者にも罰則が科されるそうです。自転車による事故から自分自身や周囲の人を守るために、改めて自転車の運転に関するルールをしっかりと確認しておきたいですね。

(岐阜支部 後藤哲裕)

発行日/2025年 3月25日

責任者/遠藤 昌克 発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail: gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

馬場 浩之、高橋 励、熊木 千夏、後藤 哲裕、河村 拓也、山谷 庸二、安江 努、
遠藤 昌克、森 信彦